

議事録



テーマ	大阪協会 平成30年7月理事会	No.	
日時	平成30年7月18日 (水曜日)	19:00 ~ 21:00	
場所	大阪産業創造館 6階会議室		
出席者	参加 31クラブ (欠席 2クラブ)		
資料			

内 容

■ 協会長挨拶

- 皆さん今晚は、暑い中ご苦労様です。ここ数日大変暑い日が続いています。そんな中、釣りに行かれる方は熱中症の予防と対策が必要です。猛暑の日が続くという予報ですので、気を付けていただきたいと思います。
- 先日の西日本豪雨災害により、広島、岡山、愛媛県で大きな被害が出ています。お亡くなりになられた方が200名を超えるという大きな災害となりました。お亡くなりになられた方々のご冥福を心よりお祈りいたしますとともに、被害に遭われました地域の皆様にお見舞いを申し上げます。連盟会員については私の把握しているところでは、岡山協会で一名の方が行方不明と聞いております。他にも被害が出ていると思われませんが、連盟の方でも詳しくは把握出来ていないようです。来月の理事会で被害状況などの報告は出来ると思います。このような状況ですので、釣りに行かれる場合は、まだまだ復旧に向け、被災者の方やボランティアの方も頑張っておられるので、釣行時には配慮していただきますようお願いいたします。

■ 第108回全日本キス投げ釣り選手権大会の賞品授与

- 全日本キスの入賞者およびラッキー賞の当選者に賞品が配布された。

■ 全日本キス 結果報告について (池田協会長)

- 大阪協会の成績は、他魚の部で北斗サーフの福岡さまが優勝されました。本賞7位に滋賀投友会の南さまが入賞されました。詳しい成績は、連盟のHPに掲載されていますので見てください。
PJの千葉協会より、会場担当者の皆さんも概ねなれておられ、成績表の送付についても順調に送っていただいた。ただ、成績表と共に写真を添付されたので、容量が大きくなり成績表が届かなかったということがありました。
プロジェクトに送付するのは成績表のみで、写真は不要です。写真は連盟の広報に送ってください。
会場の受付を担当をされるクラブは間違いの無いようお願いします。

■ 協会クラブ混合キス結果報告について (大阪S 伊達会長)

- 7月1日に、41名の参加者で開催されました。当日、釣具店の大会と併催になりましたが、事故も無く終えることが出来ました。優勝は、Mチーム(大阪S 伊達、大正S 勝田、東住吉S 島岡)で合計108匹、2位はKチーム(貝塚S 野村、アングラーズ 本屋敷、アングラーズ 高山)で合計75匹、3位はHチーム(大阪S 村上、レイマNS 浜口、アツギF 清水)で合計57匹でした。個人戦では、優勝が伊達で72匹、2位が本屋敷さん42匹、3位が今本さん38匹、4位が長谷川さん34匹、5位が浜口さん31匹でした。個人5位までの方は、来年の東西100人会出場の権利が与えられますので、是非参加されるようお願いします。

■ 7月連盟本部役員会・常任理事会報告 (池田協会長)

- 第50回クラブ対抗キスについて、6月10日に開催、好釣果を期待したのですが、海上は大荒れとなり、期待外れの釣果に終わりました。各協会との親睦は図れたと思いますが、釣果が良くなかったのはたいへん残念でした。また、毎年のごとく、京丹後市の3名の方にはきめ細かなお手伝いをして頂き、感謝を申し上げます。当日、成績発表を行ったのですが、不手際により1チームの成績が反映されていなかったことが判り、成績を訂正しました。成績表は、団体の11位および個人の7位を其々2賞とし、連盟にもその旨で報告しました。また、当事者のチームには私の方からお詫びを申し上げ、賞品を追加して発送しました。

- 第108回全日本キス大会について、全体の成績については各協会に配布しています。入賞については、エントリー数の20%ということで、本賞194位、他魚49位となりました。また、盾の表彰は入賞の15%ですので、本賞29位他魚7位となりました。副賞は50賞で、本賞40賞、他魚10賞となっています。盾などの賞品については、8月の理事会で配布できると思います。
- 全日本オープンSC選手権大会について、PJは兵庫協会です。参加は、11協会と台湾1団体、一般参加者6名で、合計86名で開催されます。集合は旧会場で用具の積み込み後に出発します。競技は、6時30分開始となっています。参加される方は注意願います。
- 第41回東西投げ釣り選抜100人の会について、9月1日受付け、2日競技となっています。宿泊地は、伊良湖シーパーク&スパとなっています。後ほど参加者について協議をおこないたいと思いますのでご協力をお願いします。また、今年より少しルール変更が行われ、各ブロックへの誘導は今まで通りですが、ブロック中心より左右に分かれる方法に変わります。審査方法で、東軍、西軍で抽選して頂き、1人の方がリーダーとなりブロック毎に集計を行い、リーダーがPJの審査員に報告を行います。詳しい内容については、現在手引きを作成中で、8月理事会にて参加者に配布する予定です。
- H30 全日本SC選手権大会について、11月14日に開催されます。競技種目は従来通りとなっています。出場基準は、新人賞の事も若干緩和されています。参加記念のポロシャツについては、初参加の方のみに進呈されることになっています。参加申し込みは、9月30日迄となっていますので、宜しくお願いします。
- 全日本カレイ選手権大会について、PJは連盟本部が行います。後ほど会場申請についてお聞きますので、会場申請があれば宜しくお願いします。
- 事故防止規定の見直しについて、現行の事故防止規定に一部足りない部分や見直しする部分があり、7月28日に小委員会開にて審議し、年末の常任理事会で改定内容を発表し、新年総会にて承認を得る運びとなっています。
- 日本記録の認定について、先月の大阪協会記録として承認した、カジカ 実寸60.0cm、拓寸63.0cm サーフ・イトワルノの石黒氏が承認されました。おめでとうございます。
 <拍手>
- 釣り場の拡大について、以前に筏での釣魚も大物申請出来るようにという要望があり、大物部で検討しており筏の写真8件を掲載した資料が配布され、筏にも様々なものがあり後ほど皆様のご存じの筏等を教えて頂き、協議したいと思います。
- 協会夏季SC通信大会、連盟オープン大会について (小山SC部長)
- 7月8日に予定していましたが、前日までの豪雨により止む無く中止とさせて頂きました。参加費については、本日全クラブに返金いたします。なお、予備日は設けておりませんので、今年の夏季SC大会は中止と致しますのでご了承をお願いします。
- 連盟のオープン大会については、大阪協会から選手8名、一般参加で3名の申し込みを行っています。昨日の時点で広島会場(公園)が開園され、PJの兵庫協会が確認を行った処、開催する予定であると聞いています。ただ、広島の災害状況が把握出来ていなので、連盟長からは100%開催するとは言えないとの返事を頂いていますので、正式に決まりましたら、選手の皆様にお伝えしたいと思います。
- 協会事故防止講習会について (高津事故防止部長)
- 8月5日大阪産業創造会館 6F で開催致します。9時30分受付けで、10時から講習会を開催します。今年度から大阪海上保安監部の担当者が変わりました、新しく担当される方は以前投げ釣りをやっておられ、全日本サーフのこともよくご存じで、非常に興味を持っておられました。講習内容につきましては、案内に記載した通りで行っていただきます。本日、受付けを行っています、現在24クラブ87名の参加申し込みがあります。本日中午に申し込みが出来なくても当日参加出来るようでしたら、会場に余裕がありますので是非とも参加をお願いします。
- 第41回東西投げ釣り100人会について (池田協会長)
- 100人会への参加申し込み者について
 参加資格のある方に順次出欠を伺い、協議した結果、ほぼ例年並みの選手の参加となった。

■協会クリーンアップ活動について（本屋敷環境部長）

●10月14日午前9時から11時位の間で実施したいと思います。国交省の河川事務所および地元振興町会との協議は整っております。昨年は10月の第1日曜日に実施したため、運動会や地元のイベントと重なり、参加者が前年に比べ約20名程少なくなりましたが、今年は一人でも多くの方の参加をお願い致します。

■第150回 協会秋季大会について（レインズ岡本）

●大会要項については昨年と同じですが、高知が豪雨により崩壊したと聞いてたが、現在は対面通行になり通行可能となっている模様ですので、次回理事会まで高知会場の設定については保留とします。

対象魚について意見を聞いたが、特に意見は無かったので、要項通りとします。

締切りは9月理事会ですので、指定用紙に記載をしていただき、参加費を添えて申し込みをお願いします。

《質問》

・会場設定ですが、西日本豪雨災害で岡山、広島、愛媛は大きな被害があった地域です。下津井や坂出会場を設定するのですか？

●気がかりなのは気がかりですが、連盟の大会も広島で開催される方向で動いており、秋季大会は10月に開催予定ですので、会場設定に問題はないと考えています。開催まで時間があるので、それまでは保留する事とします。

■第109回 全日本カレイ投げ釣り選手権）大会について（池田協会長）

●8月10日が会場申請の締切り日となっています。大阪協会は例年会場申請を行っていませんが、今年、会場申請を検討されているクラブはあるでしょうか？ 無いようですので、今年は大阪協会からの会場申請は無しとします。参加費については、1300円になっていますので間違いの無いようお願いいたします。

■西日本豪雨災害について（池田協会長）

●冒頭の挨拶でも申しましたが、連盟の会員1名が行方不明という事で大変心配している処です。連盟の方でも被害の状況を各協会に聞いているところで、集計等には時間を要する模様です。連盟では、義援金を皆さんにお願いする方向で動いている。大阪協会でも義援金について皆さんにお願いしたいと思っています。

連盟役員で協議し、目安として1人1000円位を考えています。金額をこちらから強制的に決めるものではありませんので、皆さんのご意見を伺いたいと思います。

《意見》

・うる覚えですが、東日本大震災の時に会員1人当たり1000円の寄付を行ったように思います。

●あくまでも強制ではありませんので、各クラブに持ち帰って協議をお願いします。

■その他（池田協会長）

●釣り場の中で、最近立ち入り禁止区域が多く、釣り場が狭められて来ています。そこで、もう少し釣り場の規定を緩和して何処でも釣りが出来るようにしてはどうか、という意見が挙げられた。連盟の方で解放出来る場所を調査した処、現在禁止されている場所は、①漁業者が設置した作業用筏→漁業者が設置したもので、荷上げ荷降ろし船舶の停船等に使用される筏は禁止となっています。しかし、誰もいない作業用筏では、多分皆さん釣りをしていると思います。②常時停泊している工船用台船→連絡通路にて陸地から徒歩で渡れる場所も禁止となっています。③天然釣り場→四角い枠の中に魚が入れられ釣り場となっている。枠の外、連絡フロートは有料で釣りを出来る事も禁止となっています。チヌ釣り筏は、他の方の迷惑となるのでトラブルとなる可能性があります。④養殖用の筏→主に魚類の養殖に使用する筏で、周囲に歩行可能な場所があるものも禁止となっています。

釣りをしても良い所は、浮き棧橋→階段他陸地と繋がっており、自由に出入りができ、棧橋の四隅は鎖等で海底に固定されているもの。浮き消波堤（フロート）→連絡通路が無く、陸地からは渡船等で渡るもので、フロートの四隅は鎖等で海底に固定されているもの。四国宇和島方面に多数設置されているものです。改定後可能となるもので、釣りを目的にした専用筏→渡船にて釣りを楽しめる、簡素なロープ、アンカーにて海底に固定されている筏。もう一つは、釣り用筏→筏全体を有料で開放している筏。様々な筏がありますが、一様に良い悪いを決めるのは非常に難しい問題だと思います。

今後、皆さんが行かれた釣り場で、気になる場所があれば、ご意見をいただきたいと思います。ご意見については連盟の方で協議していただきます。

以上